第 1 号

(2月9日)

令和6年 熊本県議会2月定例会会議録

第1号

令和6年2月9日(金曜日)

議事日程 第1号

令和6年2月9日(金曜日)午前10時開会

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期決定の件
- 第3 知事提出議案の上程(第1号から第79号まで)
- 第4 知事の提案理由説明
- 第5 人事委員会の意見(第41号、第42号及び第61号)
- 第6 休会の件

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期決定の件
- 日程第3 知事提出議案の上程(第1号から第79号まで)
- 日程第4 知事の提案理由説明
- 日程第5 人事委員会の意見(第41号、第42号及び第61号)
- 日程第6 休会の件

出席議員氏名(49人)

星野愛斗君
高井千歳さん
住永栄一郎君
亀田英雄君
幸村香代子君
杉寫ミカさん
立山大二朗君
斎藤陽子さん

堤泰之君
南部隼平君
本田雄三君
岩田智子君
前田敬介君
坂梨剛昭君
荒川知章君
城戸淳君
西村尚武君
池永幸生君
竹崎和虎君
吉田孝平君
中村亮彦君
高島和男君
末松直洋君
前田憲秀君
松村秀逸君
岩本浩治君
西山宗孝君
河津修司君
楠本千秋君
橋口海平君
緒方勇二君
増永慎一郎君
高木健次君
高野洋介君
内野幸喜君
山口裕君
岩中伸司君
城下広作君
西聖一君
鎌田聡君

瀧上陽一君
 坂田孝志君
 溝口幸治君
 池田和貴君
 吉永和世君
 松田三郎君
 藤川隆夫君
 岩下栄一君
 前川 收君

欠席議員氏名(なし)

説明のため出席した者の職氏名

知事 蒲島郁夫君
 副知事 田嶋 徹君
 知事公室長 内田清之君
 総務部長 平井宏英君
 企画振興部長 富永隼行君
 理事 小金丸 健君
 企画振興部
 球磨川流域
 復興局長 府高 隆君
 健康福祉部長 沼川敦彦君
 環境生活部長 小原雅之君
 商工労働部長 三輪孝之君
 観光戦略部長 原山明博君
 農林水産部長 千田真寿君
 土木部長 亀崎直隆君
 会計管理者 野尾晴一朗君
 企業局長 竹田尚史君
 病院事業者
 管理者 竹内信義君
 教育長 白石伸一君
 警察本部長 宮内彰久君
 人事委員会
 委員長 出田孝一君
 監査委員 藤井一恵君

事務局職員出席者

事務局長 波村多門
 事務局次長 村田竜二
 兼総務課長
 議事課長 富田博英
 審議員兼
 議事課長補佐 濱田浩史

午前10時

令和6年能登半島地震による犠牲者に対する黙禱

○議長(瀧上陽一君) 開会に先立ち、令和6年能登半島地震により犠牲となられました方々に対しまして、哀悼の意を表するため、黙禱を行います。

御起立をお願いします。

[起立]

○議長(瀧上陽一君) 黙禱。

[黙禱]

○議長(瀧上陽一君) 黙禱を終わります。

御着席願います。

[着席]

午前10時1分開会 開議

○議長(瀧上陽一君) ただいまから令和6年2月熊本県議会定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

就任挨拶

○議長(瀧上陽一君) まず、去る12月定例会において任命同意になりました収用委員会委員から挨拶の申出があつておりますので、この際、これを許します。

収用委員会委員立川優君。

[収用委員会委員立川優君登壇]

○収用委員会委員(立川優君) おはようございます。さきの12月定例県議会において任命の御同意をいただき、12月22日付で収用委員会委員を拝命

いたしました立川優でございます。もとより微力ではございますが、与えられた職責を果たすべく、誠心誠意努めてまいりますので、今後とも御指導、御鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願いたします。(拍手)

永年勤続議員に対する熊本県議会の表彰並びに
知事の感謝状贈呈

○議長(淵上陽一君) 次に、熊本県議会永年勤続議員に対する熊本県議会の表彰を行います。

なお、知事蒲島郁夫君から、被表彰議員に対し感謝状を贈呈したい旨の申出がっておりますので、併せてこれを行います。

被表彰者は、

25年勤続議員

岩 中 伸 司 君

藤 川 隆 夫 君

松 田 三 郎 君

鎌 田 聡 君

以上4人であります。

被表彰者の諸君は演壇の前に出ていただきます。

〔被表彰者演壇前に入る〕

○議長(淵上陽一君)

表 彰 状

岩 中 伸 司 様

あなたは本県議会議員として25年以上にわたり県民の負託に応え地方自治発展のため多大の貢献をされました。ここにその功績をたたえ表彰します

令和6年2月9日

熊 本 県 議 会

〔表彰状及び記念品贈呈〕

〔拍手〕

○議長(淵上陽一君)

表 彰 状

藤 川 隆 夫 様

以下同文です。

〔表彰状及び記念品贈呈〕

〔拍手〕

○議長(淵上陽一君)

表 彰 状

松 田 三 郎 様

以下同文です。

〔表彰状及び記念品贈呈〕

〔拍手〕

○議長(淵上陽一君)

表 彰 状

鎌 田 聡 様

以下同文です。

〔表彰状及び記念品贈呈〕

〔拍手〕

○知事(蒲島郁夫君)

感 謝 状

岩 中 伸 司 様

あなたは25年以上にわたり熊本県議会議員として県民の負託に応えよく県勢の発展に寄与されました。その功績はまことに大でありますのでここに深く感謝の意を表します

令和6年2月9日

熊本県知事 蒲 島 郁 夫

〔感謝状贈呈〕

〔拍手〕

○知事(蒲島郁夫君)

感 謝 状

藤川隆夫様

あなたは25年以上にわたり熊本県議会議員として県民の負託に応えよく県勢の発展に寄与されました。その功績はまことに大でありますのでここに深く感謝の意を表します。

令和6年2月9日

熊本県知事 蒲島郁夫

〔感謝状贈呈〕

〔拍手〕

○知事(蒲島郁夫君)

感謝状

松田三郎様

あなたは25年以上にわたり熊本県議会議員として県民の負託に応えよく県勢の発展に寄与されました。その功績はまことに大でありますのでここに深く感謝の意を表します。

令和6年2月9日

熊本県知事 蒲島郁夫

〔感謝状贈呈〕

〔拍手〕

○知事(蒲島郁夫君)

感謝状

鎌田聡様

あなたは25年以上にわたり熊本県議会議員として県民の負託に応えよく県勢の発展に寄与されました。その功績はまことに大でありますのでここに深く感謝の意を表します。

令和6年2月9日

熊本県知事 蒲島郁夫

〔感謝状贈呈〕

〔拍手〕

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(淵上陽一君) 次に、日程に従いまして、日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第121条の規定により、西村尚武君、城戸淳君、幸村香代子君、以上3人を指名いたします。

日程第2 会期決定の件

○議長(淵上陽一君) 次に、日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から3月4日までの25日間といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(淵上陽一君) 御異議なしと認めます。よって、会期は本日から3月4日までの25日間とすることに決定いたしました。

日程第3 知事提出議案の日程(第1号から第79号まで)

○議長(淵上陽一君) 次に、日程第3、知事提出議案第1号から第79号までが提出されましたので、これを一括して議題といたします。

第1号 令和5年度熊本県一般会計補正予算(第7号)

第2号 令和5年度熊本県中小企業振興資金特別会計補正予算(第1号)

第3号 令和5年度熊本県母子父子寡婦福祉資金特別会計補正予算(第1号)

第4号 令和5年度熊本県収入証紙特別会計補正予算(第1号)

第5号 令和5年度熊本県立高等学校実習資金特別会計補正予算(第1号)

第6号 令和5年度熊本県港湾整備事業特別会

計補正予算(第4号)
第7号 令和5年度熊本県臨海工業用地造成事業特別会計補正予算(第2号)
第8号 令和5年度熊本県用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)
第9号 令和5年度熊本県育英資金等貸与特別会計補正予算(第1号)
第10号 令和5年度熊本県林業改善資金特別会計補正予算(第1号)
第11号 令和5年度熊本県沿岸漁業改善資金特別会計補正予算(第1号)
第12号 令和5年度熊本県高度技術研究開発基盤整備事業等特別会計補正予算(第1号)
第13号 令和5年度熊本県公債管理特別会計補正予算(第1号)
第14号 令和5年度熊本県国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
第15号 令和5年度熊本県流域下水道事業会計補正予算(第5号)
第16号 令和5年度熊本県電気事業会計補正予算(第3号)
第17号 令和5年度熊本県工業用水道事業会計補正予算(第2号)
第18号 令和5年度熊本県有料駐車場事業会計補正予算(第2号)
第19号 令和5年度熊本県病院事業会計補正予算(第4号)
第20号 令和6年度熊本県一般会計予算
第21号 令和6年度熊本県中小企業振興資金特別会計予算
第22号 令和6年度熊本県母子父子寡婦福祉資金特別会計予算
第23号 令和6年度熊本県収入証紙特別会計予算
第24号 令和6年度熊本県立高等学校実習資金

特別会計予算
第25号 令和6年度熊本県港湾整備事業特別会計予算
第26号 令和6年度熊本県臨海工業用地造成事業特別会計予算
第27号 令和6年度熊本県用地先行取得事業特別会計予算
第28号 令和6年度熊本県育英資金等貸与特別会計予算
第29号 令和6年度熊本県林業改善資金特別会計予算
第30号 令和6年度熊本県沿岸漁業改善資金特別会計予算
第31号 令和6年度熊本県市町村振興資金貸付事業特別会計予算
第32号 令和6年度熊本県高度技術研究開発基盤整備事業等特別会計予算
第33号 令和6年度熊本県のチッソ株式会社に対する貸付けに係る県債償還等特別会計予算
第34号 令和6年度熊本県公債管理特別会計予算
第35号 令和6年度熊本県国民健康保険事業特別会計予算
第36号 令和6年度熊本県下水道事業会計予算
第37号 令和6年度熊本県電気事業会計予算
第38号 令和6年度熊本県工業用水道事業会計予算
第39号 令和6年度熊本県有料駐車場事業会計予算
第40号 令和6年度熊本県病院事業会計予算
第41号 熊本県会計年度任用職員の給与等に関する条例及び熊本県職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第42号 熊本県職員の特殊勤務手当に関する条

例の一部を改正する条例の制定について
第43号 熊本県手数料条例の一部を改正する条例の制定について
第44号 熊本県財産条例の一部を改正する条例の制定について
第45号 熊本県住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例の制定について
第46号 熊本県税条例の一部を改正する条例の制定について
第47号 熊本県行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用、特定個人情報の提供等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第48号 熊本県特別養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
第49号 熊本県指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例を廃止する条例の制定について
第50号 熊本県女性相談センター条例等の一部を改正する条例の制定について
第51号 熊本県児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
第52号 熊本県指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
第53号 熊本県病院及び診療所の人員、施設等の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第54号 熊本県立職業能力開発校条例の一部を改正する条例の制定について
第55号 熊本県漁港管理条例等の一部を改正する条例の制定について

第56号 熊本県道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
第57号 熊本県都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
第58号 熊本県流域下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第59号 熊本県港湾管理条例の一部を改正する条例の制定について
第60号 熊本県公立学校情報機器整備基金条例の制定について
第61号 熊本県警察の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第62号 財産の減額貸付けについて
第63号 財産の取得について
第64号 工事請負契約の締結について
第65号 工事請負契約の変更について
第66号 工事請負契約の変更について
第67号 工事請負契約の変更について
第68号 工事請負契約の変更について
第69号 工事請負契約の変更について
第70号 工事請負契約の締結について
第71号 工事請負契約の変更について
第72号 第5次くまもと21ヘルスプランの策定について
第73号 包括外部監査契約の締結について
第74号 権利の放棄について
第75号 権利の放棄について
第76号 専決処分の報告及び承認について
第77号 専決処分の報告及び承認について
第78号 専決処分の報告及び承認について
第79号 専決処分の報告及び承認について
報告第1号 一般社団法人熊本県果実生産出荷安定基金協会の経営状況を説明する書類の提出について

報告第2号 専決処分の報告について

報告第3号 専決処分の報告について

日程第4 知事の提案理由説明

○議長(淵上陽一君) 次に、日程第4、ただいま議題といたしました議案に対する知事の説明を求めます。

知事蒲島郁夫君。

[知事蒲島郁夫君登壇]

○知事(蒲島郁夫君) まず、本年1月1日に発生いたしました令和6年能登半島地震について申し述べます。

このたびの災害により、石川県では、多くの貴い命が失われました。ここに謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された全ての方々に、心からお見舞いを申し上げます。

県では、1月4日に、知事公室長を本部長とする応援本部を設置し、石川県の支援に着手しました。これまでに、災害時の健康危機管理、仮設住宅設置、学校運営、漁港被害調査など、被災地のニーズに応じて職員を順次派遣しています。

さらに、災害廃棄物処理、災害時動物救護、市町村と連携した輪島市における住家被害認定調査などの災害対応業務等も行っており、発災後これまでに、実人員で139人、延べ922人の職員を派遣しております。

本県は、熊本地震や令和2年7月豪雨災害からの復旧、復興に当たって、国や全国の自治体等から多大なる御支援をいただきました。

大災害を経験した本県の責任として、災害対応の経験、ノウハウを生かし、引き続き、現地のニーズを踏まえた支援をしっかりと行ってまいります。

次に、今回の定例会に提出しております議案の説明に先立ち、県政運営に対する私の所信を申し

述べます。

皆様も御承知のとおり、昨年12月6日、私は、この議場において、本年3月に行われる熊本県知事選挙には出馬せず、与えられた今の任期を全うした上で、知事の職を退くことを表明いたしました。

思えば、16年前の平成20年4月、私は、この議場で、自らの使命を「大きな可能性を秘めている熊本を目覚めさせ、躍動し、飛躍する県に変えていくこと、そして熊本県民の幸福を最大化すること」にあると述べました。そして、その後の16年にわたる蒲島県政の歩みを顧みれば、幾多の逆境を乗り越え、県政の最大目標である県民総幸福量の最大化に向けた挑戦の連続でもありました。

1期目の4年間では、財政再建、川辺川ダム問題、水俣病問題の3つの課題に懸命に取り組みました。

まず、財政再建では、隗より始めよの言葉の下、自ら月給を100万円カットし、県庁の先頭に立って財政再建を進めました。

次に、川辺川ダム問題については、私自身が受け止めた当時の民意、すなわち、球磨川という地域の宝を守りたいという流域の皆様のお考えに基づき、平成20年9月に、この議場で、当時の川辺川ダム計画の白紙撤回を表明し、ダムによらない治水の検討に着手しました。

また、私の政治の原点である水俣病問題についても、水俣病の被害者の方々の切実な声に何とか応えたいという思いの下、知事就任直後から与野党国会議員に直接交渉し、与野党双方の橋渡し役を務めることで、平成21年7月の特措法成立につながりました。

続く2期目の4年間では、1期目に種をまいた様々な施策の成果が現れ、稼げる農業の実現やくまモンの活躍など、多くの花が咲き始めました。

そのよき流れの中、人口減少を踏まえた熊本らしい地方創生の実現に向け、全力を尽くす覚悟で3期目を迎えたそのとき、大地震が本県を襲いました。

この県政史上最大の逆境を前にして、私は、発災直後に、被災された方々の痛みを最小化する、単に元にあった姿に戻すだけではなく、創造的な復興を目指す、復旧、復興を熊本のさらなる発展につなげるという復旧、復興の3原則を掲げました。そして、県庁のみならず、県民の総力を結集したチーム熊本により、全力で熊本地震からの復旧、復興を進めてまいりました。

地震からやがて8年となります。これまで、阿蘇へのアクセスルートの回復、九州を横断する高規格道路の整備促進など、創造的復興は目に見える形で着実に進んできました。

阿蘇くまもと空港では、昨年3月に新旅客ターミナルビルが開業し、新熊本駅、くまモンポート八代と併せて、陸海空の玄関口が全て新しく生まれ変わりました。

創造的復興の総仕上げと位置づける空港アクセス鉄道についても、早期実現に向け、全力で取り組んでいます。

続く4期目の4年間は、熊本地震に加え、新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨災害のトリプルパンチとの戦いでありました。

特に、令和2年7月豪雨は、それまでの予想をはるかに超えるもので、球磨川流域に甚大な被害をもたらしました。

私は、決して取り戻すことができない命の重みを考え、二度とこのような被害を起こしてはならないと固く決意し、一日も早い復旧、復興を果たすことを心に誓いました。

この思いから、この豪雨災害の科学的、客観的な検証を行うとともに、私は、発災後30回にわた

り流域の皆様とお会いし、様々な御意見や復興への思いに真摯に耳を傾けました。

その中で、私は、現在の民意は、命と環境の両立だと受け止めました。そして、私は、令和2年11月、新たな流水型ダムを含む緑の流域治水を推進することを決断いたしました。

この方向転換について、その後に行われた調査では、多くの県民の皆様が私の決断を支持してくださっていることを、私は心からありがたく思っています。

現在、流域全体の総合力で安全、安心を実現する緑の流域治水の理念の下、懸命に復旧、復興に取り組んでおります。河道掘削や遊水地の整備、輪中堤、宅地かさ上げ、さらには砂防・治山対策や森林の整備、保全、田んぼダムの取組など、安全、安心の確保に向けた対策がスピード感を持って進められています。今春には、神瀬地区において、豪雨災害後初の宅地かさ上げが完了する予定です。

清流と命を守る新たな流水型ダムについては、法と同等の環境アセスメントの手続きが進められており、昨年、国から準備レポートが公表されました。流水型ダムの整備に向けた道筋をつけるため、この任期中に、準備レポートに対する知事意見を取りまとめてまいります。

ダム問題に翻弄され続けてきた五木村については、頭地地区や宮園地区の新たなむらづくりを目指した村民主体の協議会で、平場の造成や村内の安全、安心の確保に向けた対策など、具体的な振興策が検討されています。

流水型ダムの建設地となる相良村については、国道445号の改良工事とそれに合わせた川辺川の河川整備、高原地区の農地の基盤整備など、村からの提案を踏まえた具体的な振興策が進んでいます。

残された任期の最後の日まで、五木村、相良村の振興に責任と覚悟を持って取り組んでまいります。

また、JR肥薩線の復旧については、肥薩線なくして人吉・球磨地域の存続はあり得ないという危機感の下、地元市町村と一枚岩となって、JR九州とも同じ方向性が共有できるよう、全力で取り組んでまいります。

このように、県民が一丸となって逆境に立ち向かう中で、令和3年11月には、TSMCの本県進出という、100年に1度とも言えるべきビッグチャンスが訪れています。新工場も先般完成し、本年末からは、いよいよ本格的な生産が始まります。さらに、2月6日に、第2工場も本県に立地することが発表され、新生シリコンアイランド九州の実現に向け、また一歩大きく前進しました。

これまで本県は、幾多の困難を経験してまいりました。しかし、今、困難を乗り越えた先に、本県のポテンシャルを最大限に生かした地方創生を実現し、さらには、日本の経済、感染症、災害、食料、環境の5つの安全保障に貢献できる存在になりつつあると考えています。

私の任期は、残り2か月余りとなります。16年前に、私がこの議場で申し上げた自らの使命である、大きな可能性を秘めている熊本を目覚めさせ、躍動し、飛躍する県に変えていくという目標は、今、その姿を見せ始めています。県民総幸福量の最大化を目指した蒲島県政4期目の集大成に向け、引き続き全力を尽くしてまいります。

続いて、今定例会に提案しております議案について御説明申し上げます。

まず、令和5年度2月補正予算についてです。

12月補正予算に引き続き、国の経済対策への対応や県独自の地域活性化策など、297億円を計上しています。あわせて、今後の執行見込みの精査

による減額など、必要な補正を行っています。

これらにより、一般会計は312億円の減額補正となり、補正後の現計予算額は9,733億円となります。

次に、令和6年度当初予算について御説明いたします。

令和6年度当初予算は、知事の改選期を迎えることから、いわゆる骨格予算として、人件費などの義務的経費や、熊本地震や令和2年7月豪雨からの創造的復興、感染症対策などをはじめとする継続事業に要する経費を中心に編成いたしました。

また、新規性があっても、年度当初から着手する必要のある事業に要する経費についても計上しています。

この結果、一般会計予算の総額は7,707億円となります。

次に、歳出予算の主な内容について説明いたします。

まず、令和2年7月豪雨からの創造的復興に向けて、住まいの再建につながる球磨村渡地区での宅地造成や防災機能の向上につながる人吉市青井地区での土地区画整理事業に引き続き取り組んでまいります。

また、球磨川流域復興基金をフル活用し、人口減少に苦しむ被災地の様々な課題の解決に向けた道筋をつけていくとともに、豪雨災害の記憶、教訓の伝承の推進など、市町村の取組を全力で支援してまいります。

次に、感染症への対応として、新たな感染症が発生、蔓延した場合に備え、県と協定を締結する医療機関が速やかに病床確保、発熱外来などに対応できるよう、施設や設備の整備を支援します。

また、新型コロナウイルス感染症について、国の要請に基づくゲノム解析を行い、新たな変異株

の出現を監視します。

次に、熊本地震からの創造的復興に向けて、益城町の中心市街地における土地区画整理事業や県道熊本高森線の4車線化に引き続き取り組み、防災機能の向上や交通の円滑化等につながる復興まちづくりをしっかりと推進してまいります。

そのほか、こどもまんなか社会の実現に向けて、児童手当の拡充による子育て世帯への経済的支援を行うとともに、子育て家庭に対する訪問支援や里親支援の充実、児童相談所の体制強化のほか、産科医師の育成等のための寄附講座の設置による周産期医療の体制強化を図ります。

また、人と動物が共生するくまもとの実現を目指し、来月開所を予定している動物愛護センターを拠点に、保護犬猫の譲渡促進、動物愛護の啓発、教育、飼い主のいない猫対策等を強化してまいります。

さらに、半導体関連産業の集積などで行政需要が高まる中、機動的な人員補充により男性職員の育児休業を促進し、職員のワーク・ライフ・バランスの実現を後押しするとともに、県職員として働く魅力の発信や大学訪問などにより、意欲ある人材の着実な採用につなげ、持続可能な行政運営体制を確保してまいります。

以上、予算案について御説明申し上げます。

このほか、今定例会には、条例案件や工事関係、専決処分の報告・承認案件なども併せて提案しております。

また、今会期中には、人事案件についても追加提案する予定です。

これらの議案について、よろしく御審議くださるようお願い申し上げます。

日程第5 人事委員会の意見(第41号、第42号及び第61号)

○議長(淵上陽一君) 次に、日程第5、ただいま議題といたしました議案のうち、第41号、第42号及び第61号につきましては、職員に関する条例案であり、地方公務員法第5条第2項の規定により人事委員会の意見を聴く必要がありますので、ただいまから人事委員会の意見を求めます。

人事委員会委員長出田孝一君。

〔人事委員会委員長出田孝一君登壇〕

○人事委員会委員長(出田孝一君) 本議会に提案されました議案第41号、議案第42号及び議案第61号について、地方公務員法第5条第2項の規定に基づき、人事委員会の意見を申し述べます。

議案第41号については、地方自治法の一部改正を踏まえ、本県会計年度任用職員の処遇を改善するなど、関係規定を整備するものであり、適当であると考えます。

次に、議案第42号については、本年3月に動物愛護センターが設置されることなどに伴い、本県職員の特殊勤務手当の関係規定を整備するものであり、適当であると考えます。

また、議案第61号については、国の財政措置等を踏まえ、本県警察職員の特殊勤務手当の関係規定を整備するものであり、これも適当であると考えます。

日程第6 休会の件

○議長(淵上陽一君) 次に、日程第6、休会の件を議題といたします。

お諮りいたします。

13日及び14日は、議案調査のため、休会いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(淵上陽一君) 御異議なしと認めます。よって、13日及び14日は休会することに決定いたしました。

なお、明10日から12日までは、県の休日のため、休会であります。

○議長(淵上陽一君) 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、来る15日午前10時から開きます。

日程は、議席に配付の議事日程第2号のとおりといたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前10時28分散会